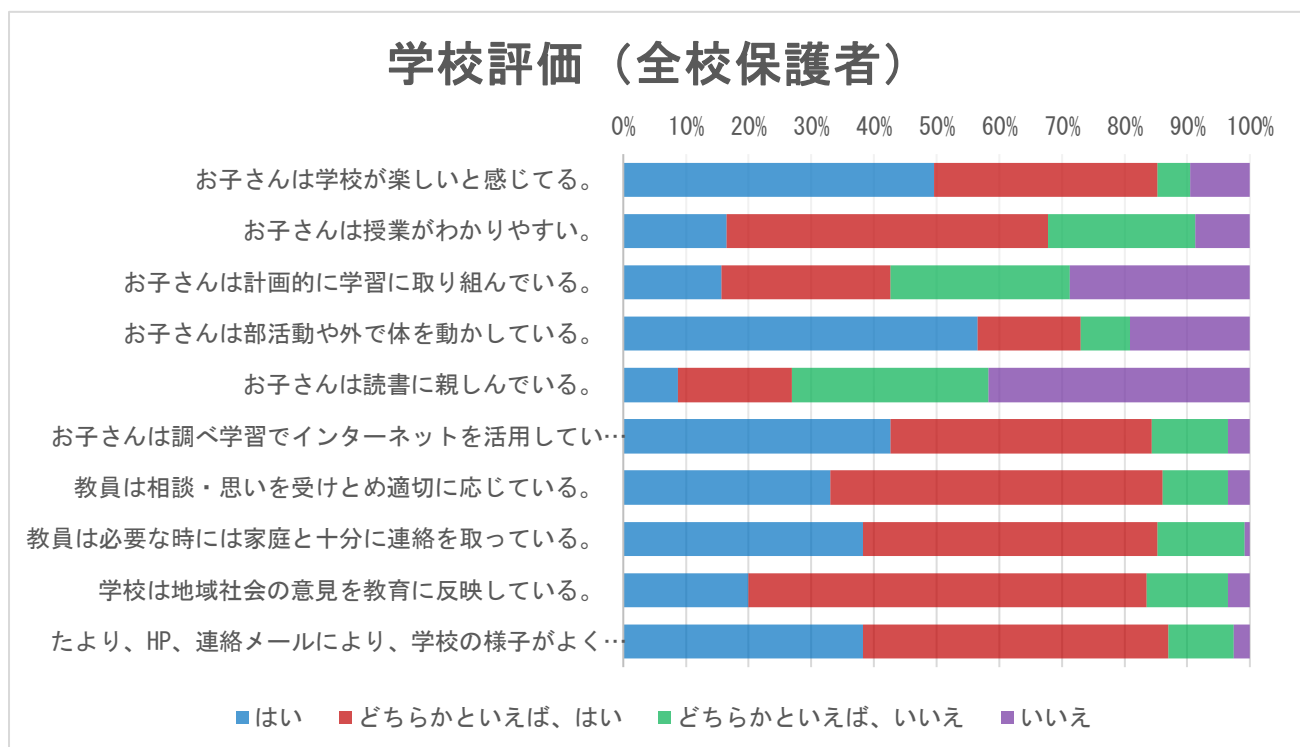


学校評価の結果

令和5年12月
江戸川区立上一色中学校



令和5年12月に保護者・地域の方にアンケートを実施しました。

【結果からの考察】

- 生徒の多くは学校が楽しいと感じている。
- 授業がわかりやすいの「はい」「どちらかというとはい」が7割しかない。教職員が授業研究を行い、さらにわかる授業を進めていく必要がある。
- 計画的に学習に取り組むことができていない生徒が多いと感じている保護者が多い。学校では、定期考査前や長期休業中での学習の取り組みを計画的に行うように指導していく。
- 一人一台タブレットをもったことにより、インターネットを使用した調べ学習ができている。
- 読書に親しんでいると感じている保護者が3割程度となっている。家庭での読書習慣があまり感じられていないようである。学校では毎日10分読書の時間を設けており、週40分の読書の時間がある。引き続き、総合的な学習の時間や特別活動、朝読書を利用し、読書に親しむ時間を設けながら、読書活動を推進していく。
- 学校が保護者に十分に連絡を行い、学校・学年からの連絡を学年だよりやHPなどを利用しながら、広く告知している。また、家庭から相談があった時だけでなく、生徒の様子を家庭に連絡をしながら、連絡・連携・協力体制を取るようになっている。